

みずほCustomer Desk Report 2017/03/23 号(As of 2017/03/22)

【昨日の市況概要】

【昨日の市況概要】				公示仲値		111.72
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	111.54	1.0811	120.61	0.9935	1.2482	0.7672
SYD-NY High	111.79	1.0825	120.81	0.9946	1.2507	0.7689
SYD-NY Low	110.74	1.0776	119.69	0.9882	1.2424	0.7640
NY 5:00 PM	111.16	1.0797	120.04	0.9914	1.2486	0.7678
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)			8.96/9.41	△ 25RR	1.018	Yen Call Over
NY DOW	20,661.30	▲ 6.71	債券市場	日本2年債	-0.2540	-
NASDAQ	5,821.64	27.82		日本10年債	0.0610	▲ 0.5bp
S&P	2,348.45	4.43		米国2年債	1.2477	▲ 1.2bp
日経平均	19,041.38	▲ 414.50		米国5年債	1.9366	▲ 1.0bp
TOPIX	1,530.20	▲ 33.22		米国10年債	2.4050	▲ 1.2bp
シカゴ日経先物	18,970	▲ 60.00		独10年債	0.4080	▲ 5.1bp
ロンドンFT	7,324.72	▲ 53.62		英10年債	1.1760	▲ 7.7bp
DAX	11,904.12	▲ 58.01		豪10年債	2.7550	▲ 5.3bp
ハンセン指数	24,320.41	▲ 272.71	為替市況	USD/CNH	6.8637	▲ 0.0086
上海総合	3,245.22	▲ 16.39		ドルインデックス	99.68	▲ 0.14
USDJPY 3M Vol	10.05	0.31%	商品市況	CRB指数	183.854	▲ 0.43
USDJPY 6M Vol	9.83	0.24%		NY金	1,252.80	3.20
EURJPY 3M Vol	12.11	0.49%		WTI	48.04	▲ 0.20
EURJPY 6M Vol	11.23	0.38%		Dubai Spot	48.54	▲ 1.86

東京	東京時間朝方、前日海外時間の円買いの流れを引き継ぎ、ドル円は前日安値(111.55)を下抜けて一時111.43まで下落。その後、本邦2月貿易収支が発表されるも、8,134億円の黒字(予想:8,072億円の黒字)とほぼ市場予想通りの結果にマーケットの反応は限定的。また同時に日銀議事要旨(1/30-31開催分)が発表されたものの、こちらも特段マーケットに動意を与える材料とはならなかった。かかる中、東京時間のドル円は111.54レベルでオープン。日経平均株価が前日比300円超下落して寄り付き、その後も下げ幅を拡大する動きとなったものの、ドル円は追隨する流れとはならず、111.50近辺でサポートされる格好となった。午後に入り、カプラン・ダス連銀総裁より「年3回利上げが基本シナリオ」などの発言が見られたものの、特段目新しい内容ではなく、111円台半ばでのレンジ推移に終始した。結局、111.58レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は111.58レベルでオープン。一時は高値111.65まで上昇したものの、米金利の低下及び欧州株の軟調地合を受けたクロス円の下落が重石となり、全般的な円買いの流れとなる中でドル円は111.13まで下落。111.24レベルでNYへ渡った。ポンドドルは1.2476レベルでオープン。高値1.2507まで上昇したものの、同水準では売り意欲も強く、1.2459レベルまで下落してNYへ渡った。(ロンドン17:00)
ニューヨーク	世界的な株安を受けてリスク回避ムードが漂う中、海外市場のドル円は上値重く推移し、111.24レベルでNYオープン。朝方は米金利低下や米株が安寄り後に一段とマイナス幅を拡大する動きを受けてドル円は昨年11月以来となる111円割れを示現し、一時110.75まで下落。英国会議事堂周辺で襲撃事件が起きて犠牲者がいたとの報道が伝わったものの、ドル円の反応は限定的となった。その後、111円台前半まで一時反発するが、午後に入りFreedom Caucus(保守強硬派)のホース委員長から「オバマケア代替法案を可決するために必要な票はまだ集まっていない」との発言を受けて、再びドル売りの流れが強まり安値110.74まで下落した。下院本会議での採決を翌日に控え、同水準では下げ渋るとドル円は111.16まで再度反発し、同レベルでクロスした。一方、ユーロは1.0787レベルでNYオープン。米下院本会議での採決に向けた不透明感から米金利が低下する展開にドル売りが強まり、ユーロは1.0825まで上昇。しかし年初来高値の1.0829付近ではユーロ売り意欲も強く、その後は1.0800を挟みでの揉み合い推移が続く。1.0797レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 矢野・西谷

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月22日	7:00	米	メスター・クリーブランド連銀総裁講演	-
	8:50	日	日銀議事要旨(1/30-31開催分)	-
	8:50	日	貿易収支	2月 ¥813.4B ¥ 807.2B
	20:00	米	MBA住宅ローン申請指数	-2.7%
	23:00	米	中古住宅販売件数	2月 5.48M 5.55M

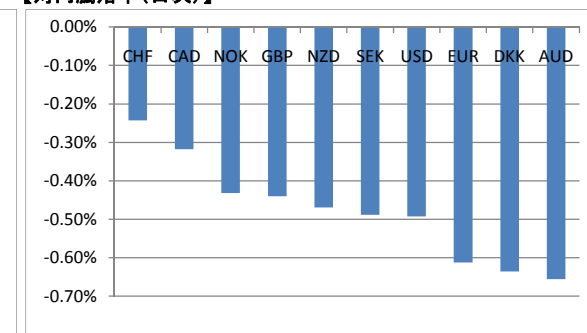
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月23日	16:00	独	GfK消費者信頼感	4月 10.0 10.0
	18:30	英	小売売上高(前月比/前年比)	2月 0.3%/3.2% -0.2%/2.6%
	21:45	米	イエレンFRB議長講演	-
	21:30	米	新規失業保険申請件数	- 240K 241K
	23:00	米	新築住宅販売件数	2月 564K 555K
3月24日	0:00	欧	消費者信頼感	3月 -5.9 -6.2
	2:00	米	カシウカ・ミネアポリス連銀総裁講演	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.80-111.50	1.0780-1.0820	119.50-120.20

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場のドル円相場は続落。トランプ米大統領による景気刺激策に対する懐疑的な見方が強まっていることから、グローバル株安が進行。この流れを嫌気した向きのドル売りが継続する中、ドル円は一時110.74円まで下落するなど、軟調な展開が続いた。本日も上値の重い展開を予想。トランプ米大統領の政策運営に対する不透明感から米金利低下が加速しており、日米金利差縮小を意識したドル売り/円買い優勢の展開が続こう。株安を嫌気したリスク回避の動きもあり、上値の重い展開となろう。